

宇宙への出発式

2021年2月2日 多賀城市立城南小学校大多目的室



宇宙からの帰還式

2021年9月9日 多賀城市立城南小学校体育館



多賀城市・宇宙古代米物語り

田植え 2023年5月31日(水) 宮城県多賀城市多賀城史跡

<参加者・約270名>
市内3小学校(城南小、八幡小、東小)
の生徒232名+先生方
多賀城高校科学部、市職員および農業生
産者、報道等約30名

多賀城市内の3つの小学校(城南小、八幡小、東小)合同の社会学習イベントです。生産者・加藤真崇さんから「田植え方法」のレクチャを受けたあと、子どもたちは裸足になって田んぼに足を踏み入れます。



ムニュムニュした感触の泥に、足は30センチぐらい潜り込みます。はじめはおっかなびっくりだった子どもたちですが、やがて歓声をあげながら田植を楽しんでいました。

ワンアースが用意した樽に小学生代表2名が宇宙古代米9株を植え付けてくれました。この樽は、仙台の全国都市緑化フェア・メイン会場に展示・公開しました。

「古代米の活用について、みんなでアイデアを出してください」と多賀城市市長の深谷晃祐さん

多賀城市・宇宙古代米物語り

稲刈り

2023年10月31日 宮城県多賀城市多賀城史跡

<参加者・約270名>
市内3小学校（城南小、八幡小、東小）の生徒
232名+先生方
多賀城高校科学部、市職員および農業生産者、
報道等約30名

爽やかな秋晴れの元、多賀城史跡内の管理された特別な田んぼに子どもたちの歓声が響き、多賀城市内の城南小、八幡小、東小から小学5年生230名が集まってきました。「宇宙古代米（未来米と呼ぶ人も）」を含む「古代米・しろのむらさき」の稲刈りです。5月に自分たちで植え、収穫したものは食べて学習します。史跡内の特別な場所での古代米の栽培は農業法人「みそらの郷」（加藤真崇代表）に委託されています。



すでに地元では、市民&小学生の発案で、宇宙カレーやスイーツなどを開発する構想が始まっています！

多賀城市では、収穫された宇宙古代米を毎年増やし、試食や料理への応用試作ができるようにしたいそうです。